



令和7年 亀山市10大ニュース

「亀山市政 今年の10選」について

今般、令和7年の亀山市政における重要な出来事や記憶に残るニュースを「亀山市政 今年の10選」として決定しました。

本年は、1月に新市施行から20年の節目を迎え、「市制施行20周年記念式典」をはじめ、「NHKのだ自慢」や「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」など記念事業を開催しましたほか、野登、神辺、加太、川崎の4つの小学校では創立150年の節目を迎えた年でした。それぞれの歩みを振り返る中で、これまで重ねてきた歴史は将来への礎であると心強く感じたところです。

また、亀山市市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」の開設や、官民連携で実施した「大阪・関西万博」での亀山茶・関の山車・キャンドルの出展など、これまで育まれてきた多彩な市民活動や地域コミュニティにおける「市民力・地域力」がまちづくりの基盤であることをあらためて実感する取り組みもありました。

そのほか、大規模施設整備事業について、市の財政状況を勘案し、市民生活への影響が大きい新ごみ処理施設の整備を最優先で進めるため、新庁舎の整備時期を延伸することとしたほか、人と自然が共生する社会を目指す「亀山市ネイチャーポジティブ宣言」の発表も行いました。

さらに、関西本線（名古屋 - 関 - 伊賀上野）直通列車及び観光列車「はなあかり」の実証運行の実施や、半導体後工程自動化・標準化技術研究組合（SATAS）がシャープ亀山工場で実証ラインの構築を始めるとの発表は、今後の展開に期待が膨らむ出来事でありました。

一方、11月には、市南部地域において濁り水が発生し、当該地域の皆様にはご不便・ご心配をおかけいたしました。引き続き、安全・安心でおいしい水を安定供給できるよう取り組んでまいります。

令和8年は、次の中長期戦略となる「第3次亀山市総合計画」が始動いたします。今後も、誰もが健やかに暮らし、幸福実感の向上へとつながる「緑の健都 かめやま」へ、引き続き全庁一丸となって挑戦してまいります。

なお、詳細は、別添資料のとおりです。